

1. 平成 28 年度特記事項

* 安全に対する施策

一昨年平成 27 年度、運輸安全委員会にリストアップされたグライダー事故・重大インシデントが 8 件を数え、1 名死亡、2 名重傷の結果となり、平成 28 年度は 4 件、4 名死亡となった。

- ・ 平成 27 年 6 月以後、その週に発生した事故を JSA 事務局より全国滑空団体に伝達し、週末飛行前のブリーフィングで紹介していただくことを実施している。
- ・ 平成 28 年 3 月の事故がソアリング中のスピンの事故だったことから、スピンの座学を受講し、少なくとも初動までを体験した人に、申請によりスピンリカバリートレーニング受講章を発行しており、5 月 10 日現在 228 名に達している。
- ・ 平成 28 年 10 月の事故直後、10 月末に滑空安全会議を開催して 100 名が参加、事故内容説明と安全対策の検討をおこなった。2004 年以後の死亡事故 13 件を分析すると 9 件はスピンの起因しており、まずスピン事故を防ぐべく、安全な速度で飛行するキャンペーンを行っている。滑空安全会議のほか、6 回の航空安全講習会で本件の説明を行い、延べ 300 名に聞いていただいた。
- ・ 航空局が事務局で開催する“小型航空機等に係る安全推進委員会”が新設され、滑空界を代表して日口理事がオブザーバーとして出席している。昨年 12 月に初回、今年 3 月に 2 回目が開催された。将来の施策に滑空機の実情を勘案していただくことを期待している。

* 平成 26 年 10 月に初回実施した埼玉スカイスポーツフェスタは注目を集めた。

- ・ 27 年度実施日は快晴ながら最大 15.m/s の強風で、レッドブル・エアレース 室屋義秀氏の華麗なデモ飛行が人気を集めた以外、地上展示および子供模型教室を実施、体験飛行は中止された。強風にもかかわらず、前年の倍 12000 人の来場者があり、継続の効果が認められた。
- ・ 28 年度は直前に妻沼滑空場で死亡事故があり、モータグライダー、グライダー、ウルトラライトの飛行を自粛。ハング、パラのデモおよび体験飛行と地上展示を実施し、12000 名の来場者があった。

* 平成 26 年から開催されたクラブミーティングは大野(H26、11 月)、長野(H27、6 月)、板倉(H27、11 月)、角田(H28 11 月)と続いている。我が国滑空界を変えるには自ら動かなければならないとのコンセンサスを得た。実際の成果を期待している。

* 我が国での滑空機操縦トレーニングに関する総合的なマニュアルが無いので、それを作成するべく準備を進めている。BGA(British Gliding Association)のインストラクターマニュアルを参考に、国内事情に適合したマニュアルを作成することを目的とする。現在前段階として、有志が翻訳と各種検討を進めている。

2. 滑空スポーツ統括普及に関する事業

2.1 各種外部委員会での活動

当協会は官公庁、航空界に対して滑空界代表として活動した。

- ・ 航空医学委員会(事務局 JAPA JSA 甲賀常務理事)
- ・ 技量維持連絡会(事務局 JAPA JSA 甲賀常務理事)
- ・ 学科試験問題検討委員会(事務局 JAPA JSA 小野淳委員)
- ・ 裾野拡大プロジェクト(事務局 JAPA JSA 吉田監事)
- ・ 小型航空機等に係る安全推進委員会(事務局航空局 日口理事)

2.2 滑空スポーツ関連の調査

滑空スポーツ基礎データ(滑空場、滑空機、機材、愛好者、活動)調査、集計を2011年から行っている。

2.3 航空関係諸団体との連携

*滑空団体との連携

・国内滑空団体にメールで情報提供を行い、特に安全性向上に努めている。

*FAI(IGC)

日本代表:Delegate 丸山理事、Alternate Delegate 甲賀常務理事

・IGC 総会 2017,3/3-4 ブタペスト 丸山理事出席

*航空スポーツ団体との連携

・SSF2016 にほぼすべての航空スポーツ団体が加盟しており、この活動を通じて、連携を深める。
10月妻沼滑空場で開催、地上展示、デモ飛行、体験飛行を提供して、航空スポーツ普及推進を行った。

SSF 実行委員長 井上常務理事、JSA 実行委員:吉田監事、甲賀常務理事

*自衛隊、使用事業などとの連携

・関東地方空域に関する連絡会に出席した。玉中理事、甲賀常務理事、吉田監事

2.4 情報発信

*ホームページ運営 担当坂井元常務理事 渡辺翼、五十嵐健大

*機関誌発刊 309号(3月)、310号(7月)、311号(11月)

編集長久田雅樹、坂井元常務理事

3. 滑空スポーツ愛好者育成に関する事業

3.1 指定航空従事者養成施設

*制度運営 設置者:後藤会長、管理者:鈴木元常務理事
事務局長:玉中理事、監査人:谷口監事

- ・ 第1期 宝珠花訓練所 5/14-6/11 の8日間 1名
- ・ 第2期 宝珠花訓練所 7/30-8/9 の8日間 4名
- ・ 第3期 中航連訓練所 8/13-8/21 の4日間 2名
- ・ 第4期 板倉訓練所 9/16-9/26 の7日間 2名
- ・ 第5期 長野訓練所 9/10-10/23 の8日間 1名
- ・ 第6期 関宿訓練所 11/5-12/11 の7日間 1名
- ・ 第7期 蕪崎訓練所 12/11-12/25 の8日間 1名

3.2 日本滑空記章制度

*運営:事務局

*規程改定、試験員管理、記章管理。

3.3 講習会・セミナー

*滑空スポーツ講習会 2016(事務局) および航空安全講習会(事務局)

TOTOくじ助成金(独立行政法人日本スポーツ振興センター)対象事業として実施。

滑空機事故のうち死亡事故の多くを占めるスピン事故防止に重点を置き、航空安全講習会を合同で実施。

滑空安全会議 10/10 事故後に開催

- ・ 東京 10/29 吉田正克、櫻井玲子、運輸安全委員会講演、佐志田信夫、相島正敏、甲賀大樹 100名出席

航空安全講習会/滑空スポーツ講習会 2016

- ・ 東京 12/3 植田展生、甲賀大樹 21名受講、2名聴講
- ・ 蕪崎 12/10 丸山毅、甲賀大樹 23名受講、16名聴講
- ・ 東京 1/14 植田展生、甲賀大樹 23名受講、1名聴講
- ・ 名古屋 1/28 日口裕二、甲賀大樹 37名受講、10名聴講
- ・ 東京 2/12 櫻井玲子、甲賀大樹 21名受講、1名聴講
- ・ 札幌 3/4 吉田徹、甲賀大樹 16名受講、12名聴講

4. 滑空スポーツ競技会に関する事業

4.1 競技会主催

現在実施していない。

4.2 競技会後援:協会規程に基づいて、国内滑空競技会の後援。(事務局)

*銅章レベルの滑空スポーツ競技会またはそのクラスの最高レベル競技会:日本滑空協会賞授与

- ・ 第49回高等学校滑空選手権大会 4/29-5/1 蕪崎滑空場
最優秀選手 山路優彰(慶応高校) 開会式吉田監事、閉会式甲賀常務理事出席
- ・ 第19回東京六大学対抗グライダー競技大会 9/1-10 妻沼滑空場
団体優勝 慶應義塾大学、最優秀選手 山崎大輔(慶應義塾大学)
開会式:佐志田理事、閉会式甲賀常務理事
- ・ 第19回全日本学生グライダー新人競技大会 9/29-10/4 木曾川滑空場
団体優勝 明治大学、最優秀選手 保谷蒼有森(慶應義塾大学)
閉会式甲賀常務理事
- ・ 第57回全日本学生グライダー競技大会 3/11-19 於妻沼滑空場
団体優勝 法政 Discus チーム(法政大学) 最優秀選手 田中紘平(法政大学)
開会式:甲賀常務理事出席、閉会式・賞状授与:後藤会長、甲賀常務理事

*C章レベルの滑空スポーツ競技会:滑空奨励賞授与

- ・ 第34回久住山岳滑翔大会 4/28-5/1 熊本地震で中止。
- ・ 第12回おおのローズカップ競技会 5/3-5 おおの滑空場
団体優勝 ひこう少年、最優秀選手 伊藤舜大 吉田監事出席
- ・ 第20回「原田覚一郎杯」大学対抗グライダー競技大会 8/8-17 妻沼滑空場

団体優勝 青山学院大学 A チーム、最優秀選手 弘田 旭(日本大学)

開会式、閉会式に甲賀常務理事出席

*その他(滑空スポーツ記録会等):滑空奨励努力賞授与

・ 第 56 回全国七大学総合体育大会 航空の部 3/3～3/7 於閉宿滑空場

団体優勝:名古屋大学、最優秀選手:後藤泰輝(名古屋大学) 審判委員長:篠原理事

*平成 27 年度より OLC を JSA 後援として実施している。

4.3 海外選手権への選手派遣(推薦、支援)

* 34th.WGC 1/8-21 Benalla (Australia) 15m クラス 2/37 位 市川 展

優勝は Sebastian Kawa (Poland)

5. 法人事業

5.1 会員 管理

5.2 表彰

・ FAI スポーツメダル 斎藤岳志 (公社)宮城県航空協会

・ 日本航空協会 亀齡賞 櫻井晴好、雲居時行 元 JSA 事務局長

・ 日本航空協会 日本記録章 市川朱美 DO/D15 級女性 100 km三角速度記録 145.53km/h

5.3 会議

*理事会:平成 28 年第1回理事会(総会議案策定、役員改選案) 5/14 航空会館

第 2 回理事会(会長、常務理事、事務局長 互選) 6/12 航空会館

非公式打ち合わせ(理事有志) 7/4 航空会館

第 3 回理事会(平成 29 年度事業計画案・予算案策定) 2/11 航空会館

*定時総会:平成 28 年度決算報告承認、役員承認、事業報告 6/12 航空会館

以上